

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	所沢駅周辺地区整備計画（重点配分）（第2期）												
計画の期間	平成31年度～平成33年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	所沢市												
計画の目標	所沢駅周辺地区におけるまちづくりの将来像である「市の表玄関にふさわしい魅力と活力あふれる新生活拠点」として、様々な多くの人が集まり、楽しく行き交い、また安心して暮らすことのできるまちを実現するため、計画的な土地利用誘導と市街地開発事業等を推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	4,440	A	4,440	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 $C / (A + B + C + D)$	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初		H32末
1	居住人口を6,594人（H29.12）から7,400人（H32）に増加 事業地区を含む周辺に居住する人口（御幸町+東町+日吉町+東住吉）の統計により算定する。	6594人	人	7400人
2	所沢駅の乗降人数102,732人（H29）から107,000人（H32）に増加 所沢駅の乗降人員（年度内の一日平均）により算定する。	102732人	人	107000人
3	都市景観や街並に対する市民の満足度の向上 市民意識調査における項目『都市景観や街並の満足度』に対する「満足」+「まあまあ満足」している割合（%）で算定する。	626%	%	640%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H31	R02	R03	R04	R05				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	所沢市	間接	所沢駅西口北街区第一種市街地再開発組合	-	-	所沢駅西口北街区第一種市街地再開発事業	商業・業務、住宅等 約0.6ha	所沢市						4,440	-		
		「所沢駅周辺地区整備計画」(計画期間:H26~H30年度)から「所沢駅周辺地区整備計画(重点配分)」(計画期間:H30~H30年度)に移行したその2期目。																		
													小計						4,440	
													合計						4,440	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
所沢市公共事業評価委員会にて評価を実施	令和3年11月及び令和4年1月に実施
	公表の方法
	所沢市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・所沢駅西口北街区第一種市街地再開発事業の施設建築物（以下「再開発ビル」という。）が完成したことにより、事業地区周辺の居住人口数は増加したが、最終目標値に到達しなかった。 ・再開発ビルが完成したことによる居住人口の増加により、駅の乗降人員数も増加したものと考えられるが、最終目標値に到達しなかった。 ・市民意識調査の都市景観等の満足度は目標に到達しているが、市街地再開発事業が直接的に影響を与えているかは確認できない。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地再開発事業区域内に広場空間を整備して一般に開放した。当該広場は市主催等のイベントで活用可能であり、今後、エリアマネジメント団体を設立して地域のまちづくりに活用するなどにより、市内の回遊性拠点となることが期待される。 ・歩行者デッキと接続する再開発ビル2階部分の廊下及びエレベーター・階段を公共用歩廊として一般に開放することにより、歩行者の安全性及び利便性の向上に貢献した。 ・土地区画整理事業との一体施行を行ったことで、地区内から狭隘道路がなくなり防災性が向上した。また、木造建築の区域を再開発ビルに集約したことにより、西口地区の土地の高度利用及び建物の不燃化、耐震化に貢献した。 ・時間貸しの駐車場、駐輪場を整備したことから、地区の駐車場対策、不法駐輪対策に貢献した。
特記事項（今後の方針等）	
<p>【全体】</p> <p>・再開発ビルが完成し、所沢駅周辺地区整備計画（重点配分）（第2期）は本年度をもって計画期間の終了を迎えるが、所沢駅周辺地区のまちづくりを対象とし、当該計画と関連する所沢駅周辺地区整備計画（以下「関連計画」という。）（第2期）については、計画期間の途中である。関連計画（第2期）では、区画整理事業により広域集客型商業施設予定地を整備するため、駅商業施設のリニューアルによる指標への効果を勘案すると、今後も街のにぎわいが増加することが見込まれることから、引き続き、関連計画（第2期）に基づき所沢駅周辺地区のまちづくりを進めることとする。</p>	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	事業地区周辺の居住人口数		
	最終目標値	7400人	事業地区周辺の居住人口数が目標値に到達しなかった主な要因としては、再開発ビルへの新規入居の開始から目標の期日までの期間が短かったため、当該建築物において見込んでいた入居者数が積み上がらなかったことによるものと考えられる。なお、関連計画策定以降、地区内の分譲共同住宅（民間開発）の建設が進み、居住人口は増加の傾向を維持している。
	最終実績値	7207人	
2	駅の乗降人員数		
	最終目標値	107000人	駅の乗降人員数が目標値に到達しなかった主な要因としては、新型コロナウイルス（COVID-19）の流行により人の流動に制限が加えられ、人の行動変容により大幅に乗降人員が減少したものと考えられるが、確たる要因の把握は難しい状況である。なお、民間開発による人口増加や駅商業施設のリニューアルによる規模拡大、所沢駅東口への新たな企業の誘致など、駅周辺の動向により、平成30年度までは駅の乗降人員は増加傾向を示していた。
	最終実績値	78002人	
3	市民意識調査の都市景観等の満足度		
	最終目標値	640% ^〇	市民意識調査の都市計画等の満足度は目標値に到達した。主な要因としては、市民意識調査の別設問において「狭山丘陵などの森林の景観」に続き、駅舎のリニューアル等により物販店や飲食店が新規出店を受け「駅前や商業施設などにぎわいのある景観」についても評価が高かったためと考える。なお、市街地再開発事業が直接的に影響を与えているかは確認できない。
	最終実績値	669% ^〇	